

角田支局記者 藤井宏匡の Let's KAKUDA!

河北新報角田支局 藤井宏匡 ※連絡の行き違い防止のため、kakuda@po.kahoku.co.jp 配達に関する連絡は販売所 TEL 0224-62-1568/FAX 0224-62-0707 までお願いいたします。→

「求むアイデア」

日中の暑さは相も変わらず。それでも、日が落ちると感じる涼しい風に、季節の変化を感じます。

最近の天気には驚かされてばかりです。先日、千葉県の上野に会いに行った際、体験したことのない雷雨に見舞われました。気温35度はもはや普通で、時に強烈な雨。日本は亜熱帯の国になっていくのではないかと、と思わされます。

角田では14日の「牟宇姫夏まつり」で、スコールのような雨が降りました。昨今においては恵みの雨とも言えるかも知れませんが、気候の変化は農作物などに影響を及ぼす可能性があります。梅、豆、コメなどの特産品を守るためにも対策が求められるかも知れません。

その角田の主要産業である農業を別の切り口から応援しようとする活動が、角田高家庭部で進んでいます。5日に開催された地域活性化や課題解決に向けて市民自ら企画立案する「角田市市民提案型まちづくり事業」の採択に向けた公開プレゼンテーションで、地元農産物などを活用した弁当の販売を提案しました。

市民提案型まちづくり事業は、採択された事業について経費の5分の4以内、最大100万円を補助するもの。2グループがプレゼンし、市幹部らが審査しました。採択された角田高家庭部は、角田産と能登半島の野菜を使った弁当の販売を提案。「角田のいいところ伝えながら経済活性化につなげ、東日本大震災で支援してくれた恩返しをしたい」とアピールし、道の駅かくだで販売するとなりました。

若い世代が地域産業に目を向け、活性化へ知恵を絞っていくことは歓迎したいもの。一方で、事業としては比較的小規模なもの。高校生で100万円を使った事業を実施するのも容易ではないのかな、とも感じました。

せっかく確保された市の事業予算。次回からは、高校生たち以外からも地域の新たな伝統・風物詩となるようなアイデアが生まれてくることに期待したいところです。

事業に採択されなくても、プレゼンすることで前進するアイデアもあるかもしれません。小欄をお読みになっている皆さまも「角田にあんなことがあればいいな」と思うことは少なからずあるはず。ぜひ、挑戦してみたいはかがですか。



市幹部らにプレゼンする 角田高家庭部の生徒たち（奥）

編集後記

最近日本各地で頻発している地震。何時いかなる時も怠りなきよう備えて参りましょう。まだまだ台風、熱中症への対策も万全に。



次回「あんふいに」は9月29日(日)発行予定です。

☆皆様からのイベント情報等をお待ちしています。原稿は毎月15日頃までに、当店へ直接お持ちいただくか、FAXまたはメールにてお送り下さい。

編集発行 河北新報目黒新聞店

〒981-1505 角田市角田字泉町137-2 0224-63-3154

月刊かほく あんふいに

皆様の元気のお手伝いを

第433号

令和6年9月号

【毎月最終日曜日 発行予定】

角田の梨をよく知ろう

かくだ梨まつり

in 吉川果樹園

梨のもぎとり収穫体験、梨クイズ、宝探しなど
梨にまつわるイベントが盛りだくさん!

*もぎ取り収穫体験価格：1袋 2000円(約4.5kg)
もっとほしい方は梨園で追加の袋をお買い求め頂けます!

9月14日(土) 午前の部：10時半～12時
午後の部：14時～15時半

*各回先着40名程度
*雨天中止

事前申し込みをした後、当日は道の駅かくだにお越しください

県内の梨は蔵王町や利府町が有名ですが、角田市も梨栽培が盛んです。角田市の果樹園のひとつ「吉川果樹園」で梨まつりを開催いたします。角田の梨の魅力、感じに来ませんか??

集合場所：道の駅かくだ
(〒981-1504 宮城県角田市枝野北島81-1)
午前の部 10時 道の駅集合・発、12時 果樹園発
午後の部 13時半 道の駅集合・発、15時半 果樹園発

まつり事務局
主催：道の駅かくだ、地域おこし協力隊 吉川一利(さっかわかずとし)
共催：公益社団法人 角田市農業振興公社
協力：みやぎINAKAゼミ

お問い合わせや
お申込みは
道の駅かくだまで
(☎0224-61-2850)

9月の新聞休刊日は
9月9日(月)です

○当店の営業時間は【午前9時～午後4時】となっております。
※新聞休刊日は、事務所も含め全店休業日とさせていただきます。